

岐阜県厚生農業協同組合連合会岐阜・西濃医療センター西濃厚生病院

病院の概要

開設時期：昭和27年2月1日
開設者：岐阜県厚生農業協同組合連合会
院長名：高橋 孝夫
病床数：400床（一般急性期：293床、回復期：82床、緩和ケア：25床）

標榜科：内科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、血液内科、糖尿病・内分泌内科、リウマチ科、脳神経内科、緩和ケア内科、心療内科、精神科、小児科、外科、乳腺外科、緩和ケア外科、肛門外科、小児外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、婦人科、耳鼻咽喉科、頭頸部外科、麻酔科、歯科、小児歯科、歯科口腔外科、放射線科、リハビリテーション科

医師数：62名
指導医師数：37名
外来患者数：591人／日※
入院患者数：272人／日※
所在地：揖斐郡大野町下磯293番地1
URL：https://seino.gfkosei.or.jp/
※令和7年度西濃厚生病院実績



病院の特徴

揖斐北西部に位置する総合病院となります。診療圏域は、西濃医療圏に属し、揖斐郡3町を中心として、近隣の神戸町、本巣市等を含めた広い地域を医療圏としています。

急性期から慢性期まで幅広く医療を提供し、関連施設として、内視鏡センター、人工透析センター、健診センター、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所を有し、地域完結型の医療を実現しています。

院長メッセージ



高橋孝夫

西濃厚生病院は、揖斐厚生病院と西美濃厚生病院の病床再編により、2023年10月に西濃地域の中核病院として開院しました。東海環状自動車道・大野神戸IC近隣に位置し、岐阜市や大垣市からのアクセスにも優れた400床の総合病院です。急性期病床293床に加え、回復期リハビリテーション病床、地域包括ケア病床、緩和ケア病床を備え、急性期から回復期、終末期医療まで幅広く地域医療を担っています。

当院は特に救急医療に力を入れており、多様な急性期疾患を経験できる環境があります。また、がん診療においては、AIを活用した最新の内視鏡診断装置、デジタルPET-CT、放射線治療装置、手術支援ロボット「ダビンチ」、腹腔鏡手術システムなどを整備しており、早期発見から高度で低侵襲な治療、さらには緩和医療まで幅広く学ぶことができます。

さらに、地域の開業医や山間部診療所との連携も強く、医師派遣や人事交流を積極的に行っています。研修中には山間部診療所での外来診療や訪問診療も経験でき、地域医療の大切さややりがいを実感できることも当院の大きな特徴です。

当院は診療科や職種間の垣根が低く、温かく家庭的な雰囲気の中で研修を行っています。病院理念である「心のこもった医療の提供」のもと、和を大切に、人を大切にする医療を実践しています。多職種によるチーム医療にも力を入れており、さまざまな視点から学ぶことができます。

知識や技術だけではなく、人に寄り添う“人情味のある医師”を育てたい—それが私たちの願いです。温かいスタッフ一同、皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。ぜひ西濃厚生病院で充実した研修を経験してください。

指導医メッセージ

当院の臨床研修は、個々の能力や希望に応じて柔軟な研修カリキュラムを組んでいます。温かい雰囲気でも職種のスタッフと一緒に考えながら、患者に寄り添う医療の実践をモットーにしています。救急外来にも力を入れ、年間3000台以上の救急車も受け入れて多彩な疾患を経験することができます。皆さんが2年の研修を終え、立派な医師として活躍できるようになることをスタッフ全員でサポートします。また、医学知識・技術だけでなく、社会人としての教養も合わせて学んでいただきたいと思います。

研修医コメント

西濃厚生病院では、医師、看護師、そのほかの様々な職種の方々に暖かい雰囲気での研修させてもらっています。診療科の垣根が低い、ローテーション中の診療科に縛られることなく他の診療科の検査や処置を経験する事ができ、有意義な研修期間を過ごせると思います。当院に興味を持たれた方は、是非気軽に病院見学にお越しください。

当院での研修は、自分のペースで研修目標を立て、指導医の先生と相談しながらスケジュールを組むことができます。新しい病院施設である事から、放射線治療装置、デジタルPET-CT、手術支援ロボットda Vinciを用いた手術症例もあり、以前よりもさらに多岐にわたる研修ができる病院に進化したと思います。また、緩和ケア病棟もあり腰を据えた診察技術を身に着けたり、患者様と真摯に向き合う態度を身につけたりすることもできます。我々とともに充実した研修医生活を送ってみませんか。

研修再開を希望される皆さんへ

当院では、中途再開者の皆さんに広く門戸を開いています。研修再開を希望される方は、当院へお問い合わせください。

研修スケジュール

チーム医療の一員として医師の役割を認識する。疾病を診るのではなく、患者の心情・背景など踏まえた一人の人間としての優しさ・思いやりのある医師の育成を目指す。

西濃厚生病院 初期臨床研修 プログラム		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	1年次	内科〔26週〕 うち一般外来研修〔2週〕						救急〔12週〕			外科〔5週〕 うち一般外来研修〔1週〕	小児科〔5週〕 うち一般外来研修〔1週〕	緩和科〔4週〕
	2年次	精神科〔4週〕	地域医療〔4週〕	必須分野または選択科									

臨床研修協力病院・協力施設

○協力病院 岐阜大学医学部附属病院 社会医療法人緑峰会 養南病院 JA 岐阜厚生連 中濃厚生病院 岐阜県総合医療センター	○協力施設 岩砂病院・岩砂マタニティー 揖斐郡北西部地域医療センター 岐阜ハートセンター JA 岐阜厚生連 飛騨医療センター 久美愛厚生病院	公立東濃中部医療センター JA 岐阜厚生連 岐阜・西濃医療センター 岐阜厚生病院 JA 岐阜厚生連 岐阜・西濃医療センター 西美濃厚生病院 JA 北海道厚生連 ニセコ羊蹄広域倶知安厚生病院
--	--	---

研修プログラムの目標

医師としての人格をかん養し、将来専門とする分野にかかわらず、医学及び医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ、一般的な診療において頻繁に関わる負傷又は疾病に適切に対応できるよう、基本的な診療能力を身に付けること。

研修プログラムの特徴

当院の最大の特徴は、各診療科を超えて医師同士の横の連携が大変密に行えるところにあります。この特徴を活かし、少人数の研修医を各科の研修中であっても他科の貴重な症例を見学ではなく体験させることにより、小回りのきく、きめ細かな研修が可能なプログラム構成となっています。また、選択期間を長く設定することにより、将来の診療科の決定に向けた自分に合ったプログラムを組むことが可能であり、一人の医師として専門医に走りすぎることなく、病院全体のスタッフとしての役割の重要性・協調性を体験し、総合的な病態を把握する習慣を身に着けることを主眼に置いています。

募集要項

応募資格	令和10年3月医師免許を取得する見込みである者 医師免許取得者で初期臨床研修を修了していない者
募集人員	6名（予定）
身分	常勤嘱託医師
給与	与：〈モデル給与〉 1年次：年収 約820万円、月給：約60万円 2年次：年収 約870万円、月給：約63万円 ※モデル給与との補足：研修医手当、ベースアップ評価料対象手当、住居手当、時間外手当含む（当直：4回、日直：1回）
住居	等：住居手当支給
保険	等：健康保険・厚生年金・雇用保険・労災保険・医師賠償責任保険

連絡先

連絡先：西濃厚生病院 企画総務課
TEL：0585-36-1100
FAX：0585-36-3100
E-mail：seino.kensyu@gfkosei.or.jp

交通案内

